

平成28年度学生と学長との懇談会

学長からの提案説明に対する学部学生・大学院生からの意見・質問

1 徳島大学公式アプリの認知度について	意見・質問
<p data-bbox="211 462 308 659">歯学部 工学部 理学部 医学部 教育学部</p> <p data-bbox="318 449 1335 641">徳島大学は、新たな広報媒体による大学情報の発信と、地域の皆様を始め多くの方々に大学を身近に感じていただくため、「徳島大学公式アプリ」を開発しています。徳島大学公式アプリの使い方をご存じでしょうか。アプリを利用することにより、オンラインで徳島だけでなく海外の先生と繋がって英語で会話ができるようになります。海外の研究者と直接研究についての会話ができるシステムもあります。</p>	<p data-bbox="1355 449 2372 544">アプリで本校の先生方と繋がるとのことであるが、直接先生にあって話した方が早い。英会話の勉強なら、歯学部にいる外国人教員でも足りるのでないかと思います。</p> <p data-bbox="1355 544 2372 641">徳島大学公式アプリ自体知らない。情報をまとめて発信して欲しい。徳島大学公式アプリの周知及び情報が少ない。パソコンで判るので、わざわざアプリを入れる必要性があるのか疑問である。</p>

平成28年度学生と学長との懇談会

学長からの提案説明に対する学部学生・大学院生からの意見・質問

2 大学改革による大学世界ランキング向上の目標設定について	意見・質問
<p>総合科学部・理工学部・栄養生命科学教育部・口腔科学教育部</p> <p>徳島大学は、工学部の理工学部への改組及び生物資源産業学部の新設を行い改革してきました。評価の仕方に問題があるが世界の大学ランキングで日本の大学自体も地盤沈下が起こっています。今後の本学の大学改革により、将来的には徳島大学を世界トップ100に入るくらいの大学になりたいと思っています。</p> <p>一般的に大学での一番の印象を聞くと、クラブで何かやったとの発言は多いが、勉強が良かったとのことを聞いたことがない。これは、教員の側の問題で、ワクワクしてこんなに楽しい学びになると思わせるような教育をやっていないからである。現在、本学ではカリキュラム改革に取り組んでいるところだ。</p> <p>大学院博士課程の振興のため、学部からの留学生を増やすことで、その先の将来の博士を増やしたいと考えています。</p> <p>小学校の頃から、本学学生が家庭教師を行うことでも徳島大学に行きたいと印象づけられる。常々、教育は10年のスパンで考えていかないとならないと思います。</p>	<p>総合科学部は他の学部比べて専門性が低いし、将来就く職業も総合科学部ならでもというものが無い。また、3年、4年では就活などで忙しいため、いろいろの分野でレポートなど負担のない授業を聞きたい。図書館のSSS（学習に関する相談に対してアドバイザーが対応する取組）があるが質問がないと行けない。徳島大学の学生は受身の学生が多いので、受身の学生が気軽に聞ける単位のない授業が欲しい。自分でオンラインにより何も無い状態から繋がるのは積極性の少ない学生の状態では難しいと思います。</p> <p>留学支援について大学側がこうしてと言うより、学生に留学経験者が留学するに当たり取り組んだことを話した方が伝わりやすい。英語での交流の場である「カルチャーラウンジ」では、コミュニティーが出来上がっているため、新規の人が入りづらいのでフランクにオープンにしていかなければならないと思う。また、「トビタテ！留学JAPAN」プログラムについて、徳島大学学生からの応募者が少ないのは、大学の交換留学の方がリーズナブルで通りやすのに対して、「トビタテ！留学JAPAN」では全国の競争率が高くプレゼンでのアイデアが必要で合格が難しいと考え志願者が減っているのではないかと思います。</p> <p>勉強をやる人はやるので、やらない人をどうするかの問題である。大学のレベルを上げるのであれば、やらない人の意識を変える必要があるのではないかと思います。</p> <p>私の先輩が高校への大学教員の出前授業により、大学に興味を持ち博士課程に進んでいる。学生を増やすのに出前授業、出前実験を行って生徒に楽しんでもらうのは良いが、大学進学を考える直前でなく、大学を考えるに十分な時間がある時期から出前授業などに行ってもらったら如何でしょうか。</p> <p>地域貢献の考えによる糖尿病サマーキャンプにおいて、学生のボランティア活動を行い思ったが、医療従事者が地域に出向いて患者さんと交流をすることで、徳島大学はこういうことをしてくれるという意味で徳島大学を知ってもらい、良い印象づけをすることが出来ると思います。</p>

平成28年度学生と学長との懇談会

学長からの提案説明に対する学部学生・大学院生からの意見・質問

3 予算減少に伴うクラウドファンディングによる資金調達について	意見・質問
<p>薬科学 教育部</p> <p>国の財政事情と少子化に伴い、国立大学の国から来る予算が12年前から続けて削減されており、徳島大学の予算は毎年1億円ずつ減ってきている。徳島大学全体の予算規模の400億円のうち病院収入200億円以外の残った200億円が、皆さんの教育、光熱経費に使われています。大学としては病院以外に稼ぐ方法がありません。毎年1億円の削減に対し、教員の削減なしで現状維持するには寄付を募り資金調達する方法しかない。例えば、サポーター10万人に1年1回千円寄付してもらえば1億円となる。10万人に支援を頂くには、10万人の方に役に立ったと思ってもらえなければならぬ。学生の皆さんにも、世界を救うための教育・研究あるいは活動を行うということで世間にアピールして頂きたいと思っています。</p>	<p>徳島大学に誇りを持っています。今後、徳島大学に寄付等何か貢献出来ればと考えています。</p>